

第7回 テーマ：「身近な遺伝子組換え作物」

講師：長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 教授 林 誠 先生

【ひとこと感想】 ありがとうございました。一部抜粋したものもあります。了承ください。

◆とても説明がお上手でわかりやすく、しかも素人の問題意識をよく理解されていて、とくにゲノム編集と遺伝子組換えの違いがわかるようにお話してくださいました。有意義なレクチャーでした。

◆遺伝子組換えについては、よく目にしていたのですが、今一つ理解していませんでした。先生のお話で、すっきりしました。よい講義でした。

◆DNAの模型は面白かった。理解しやすいです。

◆難しくてなかなか頭がついていかないこともありますが、こういうバイオサイエンスには大変興味があります。品種改良になるなら、利用していくとよいと思います。

◆わかりやすく説明していただいて良かったです。

◆遺伝子組換え及びゲノム編集モデル（模型）を使った説明、大変わかりやすく興味深く聞かせていただきました。

◆わかりやすく教えていただきありがとうございました。牛などがエサとして食べているものが、組み替えられていると、それを食べる人間に対しての安全性はどうなのかと思いました。

◆とても関心のある遺伝子組み換えのお話、興味津々でお聞きしました。実生活でも役に立つ内容でした。来年度も林先生のお話をぜひお聞きしたいです。

◆遺伝子組換え作物と除草剤の関係が、自分が思っていたものと違って、新しい発見です。ゲノム編集のお話。面白かったです。

◆今まで漠然と思っていた「遺伝子組換え」については、より深く知ることが出来ました。復習したいと思います。

◆「遺伝子組換え」を誤解していました。「遺伝子」を化学的に操作しているかと思っていました。もっと世に知らせてほしい！「ゲノム」と「組換え」の違いが少し理解できました。

◆遺伝子組換えについては、不安感がまだぬぐえませんが、いろんなことが理解できました。

◆ラウンドアップの抵抗性雑芋がでていることに納得しました。この事と合わせて、ラウンドアップの分解性が高い。残留性が低いということも、大量に使うとクリアできなくなるのではと思っています。私は使いません。

◆非常に解りやすい講義で興味がわいた。来年も講義を期待したいが、ないので残念です。

◆とても分かりやすく。遺伝子組換えの理解が深まった講義でした。グリホサートは環境への問題が認知され、EU 等では使用規制が広がっていると聞いています。

◆遺伝子組換えについては、抵抗感があったが、話を聞いて正しい内容を知ると特に恐れる必要はないかと思う。新しい技術として積極的に利用するほうがいいのではないかと思う。

◆輸入に依存している私たちは、間接的に表面にあらわれない形で、知らない間にかなり遺伝子組換え作物を摂取していることを知り、改めて驚かされました。

◆DNA、遺伝子……よく聞く言葉ですが、何にも知らないなあと自分にあきれます。毎回、引きこまれる講演で楽しみです。レジメ必ず読みかえます。

◆日常の買物で注意して確認するようにしていましたが、内容をしっかり理解できて勉強になりました。

◆わかりやすい説明だったと思います。質問時間少ないのが残念。私は製薬会社に勤めていたのですが、薬に対する規制に比べて、組換え生物の規制は非常に甘いと思います。臨床実験はやっていないのではないかと？GLISP リストのものが安全なのか調べた試験はあるのか？

---

#### 《ひとことメモ》

遺伝子組換え作物についての講座、知らないことばかりでした。

はじめに遺伝子組換え作物と聞いて、どう感じたか？の問いに、「全く不安を感じない」方は0に近く、「非常に不安」「ある程度不安」「わからない」と答えた方がほとんどでした。講座を受講した後の感想はいかがでしたでしょうか。

遺伝子組換えとゲノム編集の違いが、先生お手製の紐のDNA（遺伝子）の模型でよくわかりました。

ゲノム編集は、DNA を切ったりつなげたり、狙った遺伝子だけを正確に編集することができます。遺伝子組換えは、特定の遺伝子を外から新たに組込む技術。別の生物の遺伝子をくっつけることができるのです。

「遺伝子組換えでない」という表示は、分別生産流通管理をして遺伝子組換えの混入がない（不検出）と確認された非遺伝子組換え農作物及びこれを原材料とした加工食品に、表示することができます。「分別生産流通管理済み」の表示は、最大5%までは遺伝子組換え農産物が入っている表示です。これから表示を確認してみようと思います。食の安全について考える講座になりました。先生ありがとうございました。